

土木工学・建築学委員会 IRDR 分科会 第 24 期第 4 回分科会議事要旨

日時： 平成 30 年 8 月 23 日（木） 10:00-12:00

会場： 日本学術会議 6 階 6-A(2)会議室

議題： 1. 前回議事要旨の確認（資料 1, 2）
2. IRDR 関連の最新の動向（資料 3, 4）
3. 成都ワークショップ, ICoE 設立準備関連の状況報告（資料 7, 7-2）
4. 防災推進国民大会（10/13-14）について（資料 6）
5. 西日本豪雨災害の緊急報告会（9/10）について
6. 大型研究計画について（資料 5, 7-1）
7. その他

出席者： 春山成子, 大手信人, 桑野玲子, 小森大輔, 斎藤大樹, 佐竹健治, 鈴木康弘, 寶馨, 高橋良和, 多々納裕一, 新野宏, 林春男, 緑川光正, 山岡耕春, 山本佳代子

欠席者： 小池俊雄, 江守正多, 沖大幹, 川崎昭如, 小松利光, 近藤昭彦, 塚原健一, 西嶋一欽, 福井秀夫, 目黒公郎, 望月常好

（以上、敬称略）

議事要旨

1. 前々回及び前回議事要旨の確認がなされた（資料 1, 2）。
2. IRDR 関連の最新の動向（資料 3, 4）
 - 2nd UNISDR Global Science & Technology (STAG)（日時：8/30-31, 場所：Geneva）では, Working Group (Data, Economics, NATECH (Natural-hazard triggered technology accidents), Education) に分かれて詳細な議論がなされる予定。
 - 今後は上記 Working Group や GRAF (Global Risk Assessment Framework) 中心の活動にシフトして行くのではないと思われる。
3. 成都ワークショップ, ICoE (International Centres of Excellence) 設立準備関連の状況報告（資料 7, 7-2）
 - 第 20 回 IRDR 科学委員会は 10 月 15-18 日に成都（中国）で開催。10 月 15 日は Science committee による closed な会議, 16-17 日は National Committee (NC) などの Synthesis に関するワークショップ。
 - 日本からは 2017 年 11 月東京レジリエンスフォーラムの提案（資料 7-2）をさらに推進させるための議論をする予定。
 - ✓ National Platform を online で立ち上げて Nation's Synthesis さらに推進させる。
 - ✓ 防災減災研究ハブを現実に立ち上げる。
 - 議論を進めるためにも 100 人程度の参加が望まれる（現在のエントリー数は約 50 人）。

- ✓ 前回の東京会議の共同議長は参加を是非検討いただきたい。
- ✓ 参加者全体の1割(約10名)を日本研究者で占められるといいのではないか。
IRDR 分科会が NC であるので、分科会メンバーも参加を是非検討いただきたい(防災科研から部分的な旅費支援が可能)。

➤ 10月にNew strategic planが決まれば、IRDR 分科会の活動予定が決まってくる。

4. 防災推進国民大会(10/13-14)について(資料6)

- 主催する公開シンポジウム(日時:10/13 12:30-14:00, 場所:東京ビッグサイト)の前後に第5回 IRDR 分科会を開催する予定(恐らく16:00〜がいいのではないかな? 前後のプログラムが明らかになり次第日程調整をする)。
- 公開シンポジウムへの分科会委員の積極的な参加が要請された。

5. 西日本豪雨災害の緊急報告会(9/10)について

- 分科会委員の積極的な参加が要請された。

<https://janet->

[dr.com/050_saigaiji/2018/050_2018_gouu/20180910_houkoku/2018gouu_0910_houkoku.html](https://janet-dr.com/050_saigaiji/2018/050_2018_gouu/20180910_houkoku/2018gouu_0910_houkoku.html)

6. 大型研究計画について(資料5, 7-1)

- 大規模研究計画(資料7-1)に関して幅広い議論がなされた。
 - 申請〆切は来年2-3月。ヒアリングは来年秋頃科研費。
 - 前回申請時以降、防災減災研究ハブが設立されるなどより具体的な活動がなされてきているので、それらを中心に前回申請書をブラッシュアップしていく。
- 新学術領域研究(申請書5)に関して幅広い議論がなされた。今年度の申請に向けて、メーリングリストで継続して議論していくこととなった。
 - 大規模研究計画と同じく、具体的な活動を中心に前回申請書をブラッシュアップしていく。前回申請時の反省点として、具体的な研究案が盛り込めなかった、投資を誘発できない、ことが考えられた。
 - 内容が理工系に偏りすぎているのでは?
 - ロードマップをより明確にする必要があるのでは?
 - 「国際」と位置付けるなら海外機関も巻き込むべきでは?
 - 国民の理解を得る内容とする必要があるのでは?
 - 気候変動による外力の増大だけでなく、社会経済変化(高齢化・少子化)に対する公助のあり方(災害脆弱性に基づく公助)を、超学際的アプローチで研究すべきでは?
 - ✓ 例えば、昔からある市街地(災害に強い地域)の都市再開発(空き家問題)は投資の誘発に関連づけられるのではないかな?

7. その他

- アジア学術会議の情報を収集し、メーリングリストで共有する。

- 防災推進国民大会の主催する公開シンポジウムの前後に第 5 回 IRDR 分科会を開催する予定（恐らく 16:00～がいいのではないかな？ 前後のプログラムが明らかになり次第日程調整をする）。主な議題は、以下の見込み。
 - 成都ワークショップの状況報告
 - 大型研究計画
 - 新学術領域研究の申請